

和水町公式「なごみアプリ」のご紹介

有害鳥獣目撃被害報告

イノシシやアナグマなどを見かけたときや、農作物などの被害があったときに、スマホから簡単に町へ報告できます。

【できること】

- ・目撃した場所や被害状況を報告
- ・現地の写真を送信

その場で手軽に情報を送れるので、報告がラクになります。
皆さまからの情報は、町の有害鳥獣対策に活用されます。
地域の安全を守るため、ぜひご協力ください。



図 農林振興課林務耕地係 ☎0968・34・3111

デジタルチケット

紙の証書をスマホで申請・管理できる機能です。
窓口でスマホ画面を見せるだけで利用できます。

【使えるもの】

- ・子ども医療費受給者証
- ・和水町公民館図書室使用者証

【便利なポイント】

- ・24時間いつでも申請できます
- ・紙を持ち歩く必要がありません
- ・紛失や忘れ物の心配がなくなります



図 子ども医療費受給者証 保健子ども課子ども家庭係 ☎0968・86・5730
公民館図書室使用者証 社会教育課社会教育係 ☎0968・34・3047

ダウンロードして使ってみませんか？

「なごみアプリ」では、町からのお知らせも受け取れます。
まだダウンロードされていない方は、ぜひご利用ください。



iOS 端末 (iphone・ipad) をお使いの方



Android 端末をお使いの方

図 デジタル行政推進課情報企画係 ☎0968・86・5722

有害鳥獣対策シリーズ 第2回 (全4回)

電気柵は「置けば安心」じゃない!?

～ 正しい設置と管理が効果の決め手 ～

有害鳥獣対策を担当する地域おこし協力隊がお届けします！



イノシシとの心理戦 電気柵はなぜ効く？

電気柵はイノシシを物理的に止める柵ではなく、「触ると危険」と学習させる心理柵です。イノシシの体毛は硬く電気を通しにくいので、体に触れただけでは効果は得られません。電気ショックは、特に電気を通しやすい鼻先で電線に触れ、体を通して地面へ電気が流れることで初めて起こります。そのため、電気柵は正しい設置方法で初めて十分な効果を発揮します。



鼻先にビリビリ！効果を発揮する設置方法

電気柵は、イノシシの鼻先が最初に触れ、しっかり電気が流れるように設置することが大切です。

地面から20cm・40cmの2段張り！

イノシシは20・40cmが基本です。動物によって適した高さは異なります。

支柱のガイシ(端子)は柵の外側に向けて設置！

イノシシは横に張られた電線より縦に立つ支柱に反応しやすいので、鼻先が触れる向きにすることがポイントです。

舗装道路・コンクリートから離して設置！

舗装道路などは電気が地面へ流れにくく十分な電気ショックを与えられません。舗装道路から50cm以上離れた農地側への設置や、十分な距離を取れない場合は通電シートの活用など、設置場所に応じた工夫が電気柵の効果を引き出すポイントです。

電線に草や枝などが触れないように！

草や枝などが電線に触れると漏電し、本来の効果を十分に発揮できません。電線まわりの確認も大切です。

⚡ 上下の電線を3か所以上接続すると、通電が安定し途中で電線が切れた場合にも効果を維持しやすくなります ⚡



効果を持続させよう！設置しただけでは効果半減？

費用や手間をかけて設置した電気柵を日頃の管理で効果を長く維持することができます。

一日中通電！

イノシシは夜行性ではありません！時間帯を問わず出没するため、設置したその日から常に通電しておくことが大切です。また、収穫後は通電を続けるか、速やかに撤去しましょう。電線だけ残すと「安全」と学習し、翌年以降の効果が低下する原因になります。

草や枝が伸びたら早めに除去！

定期的に確認することで漏電を防ぐことができます。

作物を電線の外へ出さない！

電線の外にはみ出した作物は、イノシシにとって格好の試食品になります。一度おいしいと覚えると、繰り返し侵入するようになります。



電気柵の効果を最大限に！

今回は「ワイヤーメッシュは高ければ安心!？」をご紹介します。

図 農林振興課 林務耕地係 ☎0968・34・3111